

## 住民参加し空き家改修

金石海禅寺町の1級建築士北村陽子さん(36)が地元で空き家となっている町家を改修し、住居を兼ねた建築事務所を27日に開設する。市内では東山など旧市街地に多いカフェやゲストハウスへの転用ではなく、町家の趣を生かしながら、現代の生活様式に合わせた住居としての再利用を提案する。改装作業には住民にも加わってもらい、地域一体で町家を保存、再生する機運を高めたい考えだ。

# 金石の町家 再生モデルに

芳斉出身の北村さんは結婚後、木造の商家や住宅が立ち並び霧囲気を気に入り、祖父母が住んでいた金石に自宅兼事務所を構えた。

観光スポットが集積し、北陸新幹線の開業後に町家の店舗利用が急増した旧市街地と異なり、金石では居住者のいなくなった町家の取り壊しが続出。地域の歴史を伝える町家の価値を住民に再認識してもらおうと、空き家となった町家を買取り、修繕して住まいとすることにしました。

町家は築80年以上が経過し、耐震化工事を行ったほか、浴室や台所などの水回りを大規模にリフォームした。しっくい製の壁や和室の障子はそのまま残し、町家の雰囲気を生かした仕上がりとなった。

12、13日には市の補助金を活用し、住民らが町家の壁塗りを体験するワ



壁塗りを体験するワークショップの参加者

## 1級建築士・北村さん

ワークショップを開いた。親子連れら約20人が参加し、消臭や吸湿効果のある能登産の珪藻土を内壁に塗り込んだ。

子ども2人と参加した公務員平田圭亮さん(36)「割出町」は「壁塗りを体験できる機会はそうそうないので、子どもにとってもいい経験になった」と喜んだ。

珪藻土の乾燥後、内装の照明などを配置し、改修が完了する。北村さんは住民が集うコミュニティスペースを設けることも検討しており、「町家は地域の貴重な財産。住居としての魅力を発信し、保存につなげたい」と話した。



住居兼建築事務所に改修する町家

|| 金石北2丁目